

「インフラメンテナンス国民会議」を通じた新技術実装事例

別添 1

- 地方フォーラムを設立し、全国でフォーラムやピッチイベント等を開催 【ピッチイベント等 約130件開催 (R2. 3)】
- 国民会議の場を通じ、紹介された技術の社会実装数が着実に増加 【8技術・延べ73件 (R2. 3)】

現場ニーズと技術のマッチング等による革新的技術の社会実装の事例 (東京都品川区)

道路の凹凸情報の解析技術

→自動車にスマートフォンを搭載し、走行して収集した
加速度情報から解析



スマートフォン搭載のイメージ

- ◆ スマートフォンに組み込まれた加速度センサーで道路の段差を検知しデータ化
- ◆ GPS機能により位置情報も合わせてデータ化

段差データを3段階に色分けして地図表示

赤 (即時対応) 黄 (経過観察) 青 (注意)

⇒ 新技術の導入により、わかりやすい評価区分で
地図表示することで、目視ポイントの目安となり
目視点検の成果が飛躍的にアップ

【品川区】

目視点検を補完する技術を求めていたところ、国民会議から発信される新技術が、検証から実装までの過程において、極めて有効な情報として選択肢が広がった。また、自治体支援フォーラムなどで情報発信することで、同様な課題を抱える自治体間の連携につながった。

マッチング

発注者

シーズ企業

【シーズ企業：F社】

汎用機器を活用し、低コストで効率的な点検業務を道路管理者自身が行える点が品川区様のニーズにマッチした。国民会議のイベントを通じて継続的に取り組み事例が発信されているので、より多くの自治体の参考にして欲しい。